



# 2025 SHISEIKAN! 2

## 巻 頭 言

校長 中道 久雄

(前号より続く)

### エピローグ [Epilogue]

「サンシャイン60」(当時、日本の最高層ビル)の56階に海外事業部のオフィスがオープンした。当初、リクルートに苦労した。半月も経たない内に徐々に社員が集まり始めた。

当時は、パソコン、携帯電話等なくて通信手段は固定電話及びテレックスが主流であった。

12名の社員が入社し、2ヵ月間の研修を終え、各々配置に就いた。翻訳部・テレックス部・総務部・営業部・・・社員の平均年齢は31歳で若さ溢れる会社だった。

勤務形態は昼夜2交代制でほぼ20時間以上稼働した。米国との取引が80%、香港が10%、残りは欧州が10%であった。

3か月振りに社長が帰国し、我々社員に今後の計画立案を示された。私が勤務していた「Asahi Enterprise Group Inc.」は本社が福岡に置かれ、東京支社、大阪支社、北海道から沖縄まで支店が置かれていた。従業員数は3,000名を超えていた。唯一、海外との取引の窓口は海外事業部(東京)が一手に担っていた。私のターニングポイントは、社長が計画立案された事に異議を唱えたことであった。社長が言い伝えたことに対しては、専務も、常務も、本部長も「Yes Man」であり、反対することはできなかった。所謂、ワンマン社長であった。今回の米商社との合併事業に反対の意義を唱え、「NO!」と言ったのは、私、独りであった。私は部下たちのことを思い、外国資本が注入されると社員たちの立場が危ぶまれるからであった。私は体を張って社長に再考を促し

たが聞く耳をもたなかった。商社とは実利主義を最優先課題として経営方針を担うことではあるが、常に同業他社を意識して目新しいことを推し進めていく体制に、齟齬(そご)が生じていた。その後、私は社長に辞表を提出した。この時期、私の残された人生をいかに生きていくのか?私の生かされている使命は何だろうか?と思い喘いでいた。私はイスラエル滞在中ヘブライ大学(旧約学・心理学)に入学し、特に旧約聖書(イザヤ書)の講義は耳を傾注してノートを取った。そのイザヤ書の一節に「志あるところ道あり!」(「エインダバル ハ・オメット リフネイ ハ・ラツオン」)が私の魂を覚醒させた。「若い魂に、次世代を担う若者たちに伝えていくべきことを実践していかなければならない」と、心に誓った。

人生をやり直そう、相当の覚悟が付き纏った。まず、家族のことを考えた。田舎(熊本)に帰って何ができるのだろうか?寝ても覚めてもこのことばかり考えていた。家族に全ての事を打ち明けた。家族は私の生き方に反対しなかった。必ずこれまで以上の幸せを掴むと自身に言い聞かせた。

1985年(昭和60年)およそ10年間の商社生活を終えて帰省した。早速仕事に精を出した。会社勤めではなく起業しようと思った。起業する前に稼げる方法を考えた。家庭教師(無資本)に焦点を当てた。平日は18時から23時まで中学生・高校生の指導を行った。土曜・日曜は10時から23時まで生徒の指導にあたった。1年が経過しない間に生徒の人数も増えてきた。おかげで、中学校・高校の現状を認識することができた。家庭訪問先の保護者の悩みや相談も受けた。

(裏面に続く)



ある日、生徒の家庭を訪ねた。生徒が私に囁いた。「先生、最近学校を休む生徒が増えてきたよ！」この言葉に震撼した。登校できないってどうしてだろう？

その後、県の教育委員会を訪ねた。登校拒否（不登校）の現状について質問したが無回答だった。数日後、新聞の片隅にあった「大検」の文字が目焼き付いた。この学校は本校が東京（新宿）にあり、全国に展開していた。私は、知識不足で大検の事は全く知らなかった。後日、私はその学校を訪問した。担当の先生からノウハウを伝授していただいた。

1987年（昭和62年）9月「大検専門予備校 学習社ゼミナール」が呱呱の声を上げた。いよいよ経営の始まりである。当初、募集は高校中途退学者に的を絞った。高校の校長・教頭・カウンセラー室・養護の先生にも面識を得た。毎日が学校訪問だった。新しい出会いが次から次に進行していった。充実した日々であった。新しい発見もあった。

全ての私財をはたいて命がけで取り組んだ。一か月が経過しても、生徒は一人も集まらなかった。この間、先生方（8名）の給料は遅滞なく支払わなければならない

（以下、ホームページより抜粋）

「ごあいさつ」

どんな植物にも、その植物に合った育て方というものがあります。肥料や水の与え方にしても、それぞれの個性によって違って来るものです。そしてこれは、人にも言えること。一人ひとりに本当に合う教育を行なうことで、それぞれの個性を生かし、可能性を大きく育てることが出来るのです。

「志成館高等学院」は教育指針として『志あるところ道あり』を精神基盤とし、21世紀の文化を創造するに足る情緒豊かな人間を育成し、ボランティア精神及び地域社会援助能力を養うことで、“人を思いやる優しさ”の本当の意味を教育します。そのために基礎学力と道徳心を養い、また、高等学校卒業資格や、高卒程度認定試験合格など、将来への足がかりを取得し、自由を主体とした学園を築きます。

志成館はそのような自由の中での規律を理解できる人材教育を行います。笑顔いっぱいの学校、楽しく学べる学校です。

し、家賃も然りである。自身は無給で8カ月間耐えた。3か月が経過したころ、一人の青年が説明を聞きに来た。

「僕は高校1年を中退して現在石油スタンドで2年間アルバイトをしています。自動車専門学校を受験したいが、中卒では受験資格が無いので大検を受けたい。」悲痛な声で私に言葉を投げかけてきた。この生徒が開校1回生であった。

大検開校時は公立高校、私立高校の大半の教職員に理解されなくて、保護者も同様だった。1年後、新聞広告、テレビCM、学校訪問の成果が徐々に現れてきた。次年度は70名が検定に挑戦した。8割の合格率を達成した。生徒、教職員一人ひとりが自信を持ち、教室は笑いが迸っていた。5年後には生徒数が150名に増えた。関東・関西・四国・九州一円・沖縄からも入学手続きが舞い込んだ。しかし、順風満帆に事は運ばなかった。・・・だからこそ、現在が在ることに万感の思いを馳せた。

時は過ぎ、2003年（平成15年）2月に日本航空高校との連携（教育基本法55条）により「志成館高等学院」が誕生した。この時、私は54歳を過ぎていた。

昭和 62 年 9 月	大検専門予備校学習社ゼミナール設立
平成元年 4 月	前身熊本英数学館を引き継ぎ大学・高校受験予備校志成館設立
平成 2 年 12 月	(私学法人) 志成館設立
平成 10 年 4 月	志成館通信制・単位制高校サポートコース設立
平成 14 年 12 月	(私学法人) 志成館、志成館予備校を熊本県教育委員会へ指定技能教育施設として申請
平成 15 年 2 月	熊本県教育委員会より指定技能教育施設認可
平成 19 年 3 月	NPO法人 日本教育相談研究所『くまもと共育会 T.T』設立
平成 20 年 1 月	新校舎落成
平成 30 年 5 月	NPO法人 日本教育相談研究所『くまもと共育会 T.T』解散
平成 30 年 6 月	思春期の子どもと向き合うおとなたちの会『ひなたぼっこの会』が任意団体（自助グループ）として独立

# 2月の予定

日	曜				
1	土	八代校】オープンスクール			
2	日				
3	月	3年】三者面談			
4	火				
5	水				
6	木				
7	金			高校】大学進学共通テスト模試 漢字検定	
8	土			↓	
9	日				
10	月	2年】二者面談	高校】味噌天神ボランティア清掃		
11	火	祝日「建国記念の日」			
12	水				
13	木				
14	金			↓	
15	土	熊本校】保護者茶話会/オープンスクール			
16	日				
17	月	1年】二者面談			
18	火				
19	水				
20	木				
21	金	↓高校】情報処理検定・卒業式予行			
22	土	高校】令和6年度 卒業式			
23	日	祝日「天皇誕生日」			
24	月	「振替休日」			
25	火	高校】卒業式代休			
26	水				
27	木				
28	金	↓1・2年】終業式			

<高等学校>

3年生はいよいよ卒業です。

残された最後の高校生活を精一杯楽しんでください。また、三者面談が予定されていますので必ず別紙をご確認ください。

1・2年生は二者面談が予定されています。別紙をみて希望日を担任に連絡してください。

<大学受験科>

進学が決まっている皆さんは、進学先での学習に向けた取り組みに励んでください。

また、受験科の授業を受けている2年生は4月まで通常授業がありません。教科担当の先生から課題などをもらうようにしてください。



# 志成館・ぐるぐるログ

令和6年度 10回目の今回は、12月13日（金）に行われた1・2年生クリスマス会の様子をお伝えします。  
 それではレッツぐるぐるウォッチッチ！！



日本航空高校【熊本キャンパス】  
 志成館高等学院  
 志成館【高認受験科】  
 志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)  
 TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <https://www.siseikan.net>